

## 編集後記

いつも楽しく読ませていただいている歯学部ニュースにも、たくさんの方々のお力があって成されているものだと実感しました。ご寄稿して下さった先生方はもちろんのこと、学生さんにも素敵な原稿を執筆いただいたことに大変感激しております。この感慨に浸りながら、完成した歯学部ニュースをより一層の楽しみをもって拝読させていただこうと思います。最後になりましたが、ご多忙のなか、ご寄稿いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

包括歯科補綴学分野 大川 純平

今回、初めて歯学部ニュースの編集を担当させていただきました。今年度が始まるや否や、コロナウイルスの感染拡大により、オンライン授業の導入、課外活動の自粛、臨床実習の中断等、学生・教職員を取り巻く生活が一変しました。このような状況下にもかかわらず、締め切りまで時間がないうち、執筆を快く引き受けていただいた先生方、学生の皆さんに感謝を申し上げるとともに、編集作業を通じて、学生の「生の声」を聞くことができたことはとても貴重な経験でした。本当にありがとうございました。

予防歯科学分野 久保田 悠

この度、初めて歯学部ニュース編集委員を担当させていただきました。学部生時代と教員になってから2回歯学部ニュースに寄稿させていただく機会がありましたが、今回は歯学部ニュース編集委員の立場から、微力ながらも歯学部の広報活動に携わせていただき、よい経験となりました。最後に、お忙しい中にも関わらず歯学部ニュース原稿執筆にご協力いただきました皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。

組織再建口腔外科学分野 齋藤 直朗

この度はお忙しい中、原稿執筆にご協力いただきました先生方、学生さんにこの場をお借りして心より感謝申し上げます。今回初めて歯学部ニュースの編集に関わらせていただきましたが、担当させていただいた原稿の多くでコロナ禍による様々な影響や時に困難が綴られていました。しかし、その中でも希望を持って前を向いて進んでいる学生さんの姿に力づけられました。このような状況だからこそ、これまで以上に、歯学部ニュースが生きた情報発信の場として、読者の皆さんをつなぐ架け橋となることを願っております。

歯周診断・再建学分野 野中 由香莉

今年は新型コロナウイルスの影響で、歯学部生は学部授業も臨床実習も部活動も制限され、例年とは異なるカリキュラムとなってしまいました。「歯学部ニュース」は、ご両親が学生の近況を知る貴重な情報源ということ念頭に、学生中心の構成を心がけました。不安やストレスを抱えながらも、前向きに精一杯頑張る姿が思い浮かぶ内容となりました。新潟大学歯学部の未来は明るいです。

う蝕学分野 竹中 彰治